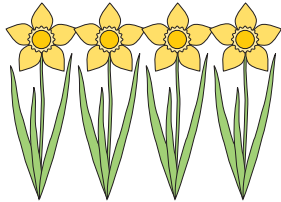


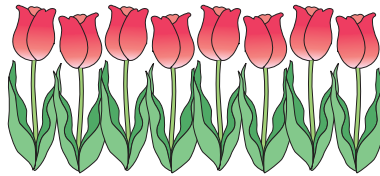
2 年	名	
	組 前	



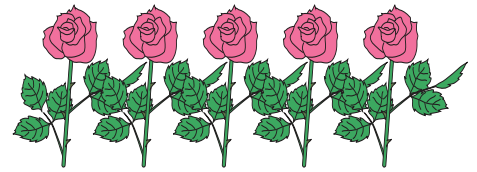
絵を 見て 花の 数を しらべて、グラフや 表に まとめましょう。



すいせん 本



チューリップ 本



ばら 本



たんぽぽ 本

① 花の 数を グラフに あらわしましょう。

花の数しらべ

○			
○			
○			
○			
すいせん	チューリップ	ばら	たんぽぽ

グラフに あらわすと、
数の ちがいが
くらべやすいね。



① 数が いちばん 多いのは
どの 花ですか。

② チューリップは ばらより
何本 多いですか。

③ 数が いちばん 少ないのは
どの 花ですか。

② どの 花が 何本 あるか、表に 書きましょう。

花の名前				たんぽぽ
本数 (本)	4	8		



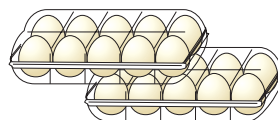
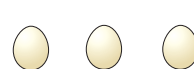
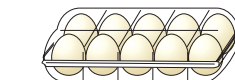
花の 数が 多い じゅんに
花の 名前を 言って みよう。

表に あらわすと、数が
わかりやすくなるね。



◆ 13 + 24 の筆算

	じゅう 十の位	くわい 一の位
	1	3
+	2	4



じゅう 十の位 と くわい 一の位 に
わ 分けて かんが 考えれば よかったね。



- ① 一の位の 計算を しましょう。

$$3 + 4 = \boxed{}$$

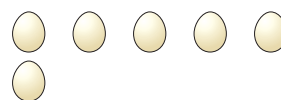
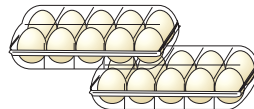
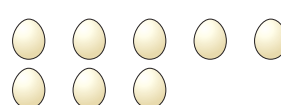
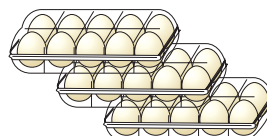
- ② 十の位の 計算を しましょう。

$$1 + 2 = \boxed{}$$

- ③ 上の 筆算に 答えを 書きましょう。

◆ 38 + 26 の筆算

	じゅう 十の位	くわい 一の位
	3	8
+	2	6
		4



- ① 一の位の 計算を しましょう。

$$8 + 6 = \boxed{}$$

- ② 十の位の 計算を しましょう。

$$\overset{\text{くり上がり}}{1} + 3 + 2 = \boxed{}$$

- ③ 上の 筆算に 答えを 書きましょう。

- ・一の位は 8 + 6 で 14
- ・10 より 大きくなったら
十の位に
1 くり上げます。
- ・一の位に 4 を
書きます。



◆たし算の 筆算の れんしゅう

位や くり上がりに 気をつけて、正かくに
計算できるように しましょう。

①

$$\begin{array}{r} 17 \\ + 52 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 37 \\ + 46 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 68 \\ + 22 \\ \hline \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 7 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 75 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$$

⑥ 28 + 59

$$\begin{array}{r} 28 \\ + 59 \\ \hline \end{array}$$

④ 7 + 29

$$\begin{array}{r} 7 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$$



位が そろって いないね。
十の位 どうし、一の位 どうしで、
位を そろえて 数字を 書きましょう。

⑦ 57 + 13

$$\begin{array}{r} 57 \\ + 13 \\ \hline \end{array}$$

⑧ 4 + 39

$$\begin{array}{r} 4 \\ + 39 \\ \hline \end{array}$$

⑨ 19 + 1

$$\begin{array}{r} 19 \\ + 1 \\ \hline \end{array}$$

◆たし算の きまり



あやさんと てるきさんは、たんぽぽを ^{した}下の ^{かず}数だけ つみました。
あわせて ^{なんぼん}何本 つんだでしょうか。



- ① あやさんが つんだ たんぽぽの ^{かず}数は ^{ほん}本です。
- ② てるきさんが つんだ たんぽぽの ^{かず}数は ^{ほん}本です。
- ③ あわせた ^{かず}数は、どんな ^{しき}式で もとめられるでしょうか。



15 +



8 +

- ④ 2 人の ^{こた}答えを
くらべて みましょう。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 1 & 5 \\ \hline + & 8 \\ \hline \end{array}$$



^{こた}答えは？

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 8 & \\ \hline + & 15 \\ \hline \end{array}$$

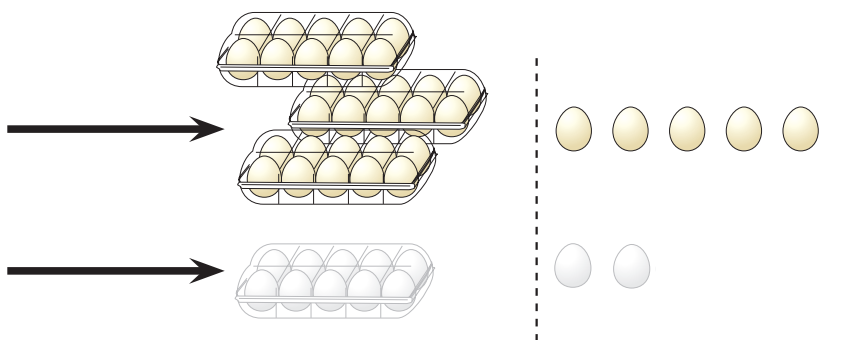
たし算では、^{ざん}たされる数と ^{かず}たす数を ^い入れかえて
たしても、^{こた}答えは ^{おな}同じに なります。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 15 & 8 \\ \hline \end{array} + = 23$$

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 8 & 15 \\ \hline \end{array} + = 23$$

◆ 35 - 12 の筆算

	じゅう 十の位	くらい 一の位
	3	5
-	1	2



じゅう 十の位 くらい 一の位
わ 分けて かんが 考えれば よかったね。



- ① 一の位の 計算を しましょう。

$$5 - 2 = \square$$

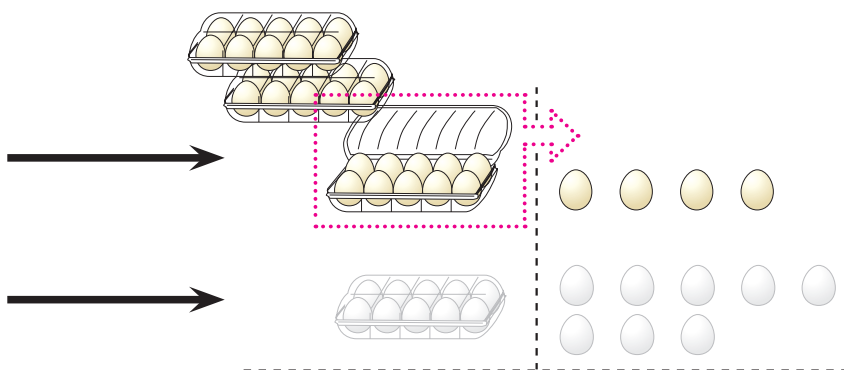
- ② 十の位の 計算を しましょう。

$$3 - 1 = \square$$

- ③ 上の 筆算に 答えを 書きましょう。

◆ 34 - 18 の筆算

	じゅう 十の位	くらい 一の位
	2	1
	3	4
-	1	8
		6



- ① 一の位の 計算を しましょう。

$$\begin{array}{r} \text{くり下がり} \\ 1 \end{array} 4 - 8 = \square$$

- ② 十の位の 計算を しましょう。

$$2 - 1 = \square$$

- ③ 上の 筆算に 答えを 書きましょう。

・一の位は 4 から 8 は
ひけないので、十の位から
1 くり下げて 14 - 8 を
計算します。
・十の位は 1 くり下げたので
2 - 1 を 計算します。



◆計算の たしかめ

図書室に 子どもが 23 人 います。

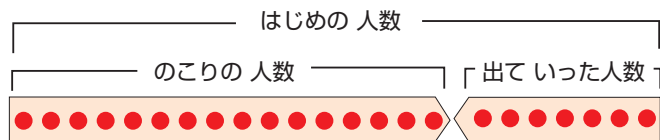
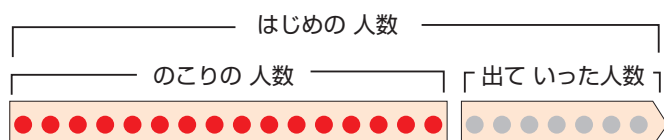
7 人 出て いくと のこりは 何人 になるでしょうか。

① はじめに いた 人数は 人です。

② 出て いった 人数は 人です。

③ のこりの 人数を
もとめましょう。

④ のこりの 人数に
出て いった 人数を たすと、
何人 になるでしょうか。



しき式

$$\boxed{} - \boxed{} = \boxed{}$$

こたえ

しき式

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

こたえ

—		

…はじめの 人数

…出ていった 人数

…のこりの 人数

+		

…のこりの 人数

…出ていった 人数

…はじめの 人数

ひき算の 答えに ひく数を たすと、
ひかれる数に なります。

$$\boxed{23} - \boxed{7} = \boxed{16}$$

$$\boxed{16} + \boxed{7} = \boxed{23}$$

上の ③の $23 - 7$ の 答えは、④の $16 + 7$ の 計算で たしかめを
する ことができます。



◆ひき算の 筆算の れんしゅう

くり下がりに 気を つけて、正かくに 計算できるように
 しましょう。また、答えの たしかめを しましょう。

①

$$\begin{array}{r} 56 \\ - 43 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 41 \\ - 18 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 70 \\ - 52 \\ \hline \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 23 \\ - 17 \\ \hline \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 44 \\ - \quad 8 \\ \hline \end{array}$$

⑥ 27 - 12

$$\begin{array}{r} 27 \\ - 12 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 45 - 28

$$\begin{array}{r} 45 \\ - 28 \\ \hline \end{array}$$

⑧ 80 - 73

$$\begin{array}{r} 80 \\ - 73 \\ \hline \end{array}$$

⑨ 94 - 7

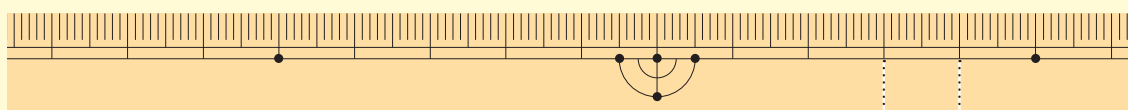
$$\begin{array}{r} 94 \\ - 7 \\ \hline \end{array}$$



◆センチメートル

なが 長さの あらわし方を しらべましょう。

- ① みんなが 同じように 長さを はかる ことが できる どうぐが です。



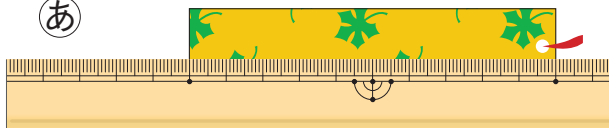
- ② ものさしの ながい めもりの 間の ながさを といい、 1cm と 書きます。

- ③ 1cm の 3 ぶんの ながさは cm です。

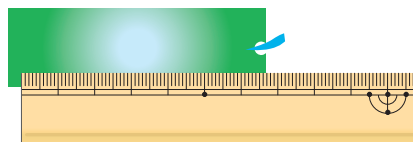
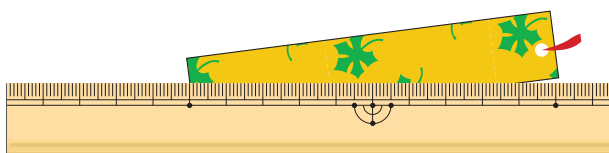
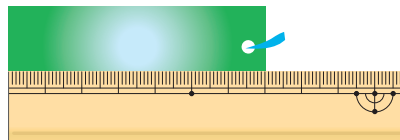
- ④ 17cm は 1cm の ぶんの ながさです。

- ⑤ 下の ①、② で 正しい 図を 見て、しおりの 長さを よみましょう。

①



②

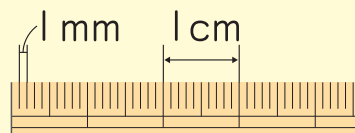


1 cm の ぶんで cm

1 cm の ぶんで cm

◆ミリメートル

- ① 1 cm を 同じ 長さに 10 こに 分けた 1 こ分の 長さを といい、 1mm と 書きます。



- ② 1 cm は mm です。

- ③ cm や mm は 長さの です。



◆長さの はかり方

いろいろな ^{なが}長さを はかってみましょう。

- ① ^{した}下の ^{ちよくせん}直線の ^{なが}長さを ものさしで はかりましょう。

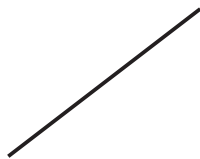
あ



い



う



まっすぐな ^{せん}線を
^{ちよくせん}直線と いうよ。

cm、mm の めもりを
^みよく 見て はかろう。



あ

cm

い

cm

mm

う

cm

mm

- ② ^{なが}長い じゅんに あ、い、う を ならべましょう。

⇒

⇒

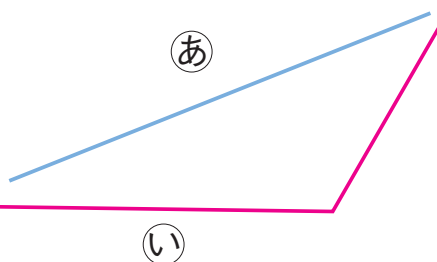
- ③ つぎの ^{なが}長さの ^{ちよくせん}直線を ^か書きましょう。

8cm

5cm8mm



右の ^{みぎ}あ の ^{なが}長さと ^{なが}い の ^{なが}長さを
くらべましょう。



- ① ^{なが}い の ^{なが}長さは ^{なん}何 cm でしょうか。

しき
式

cm

mm

+

cm

=

cm

mm

- ② ^{なが}い の ^{なが}長さは、^{なが}あ の ^{なが}長さより ^{なん}何 cm ^{なが}長い でしょうか。

しき
式

cm

mm

-

cm

=

^{なが}長さも ^{ざん}たし算や
^{ざん}ひき算が できるね。

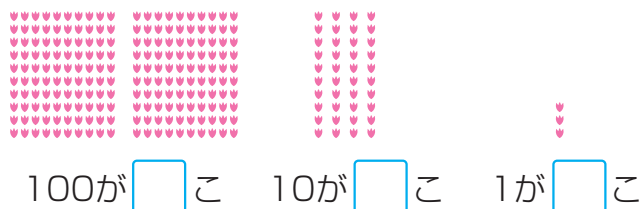




◆数の あらわし方

はな なん
花は 何こ あるでしょうか。

- ① 100 のたば、10 のたば、
1 のたばが、それぞれ 何こ
あるでしょうか。



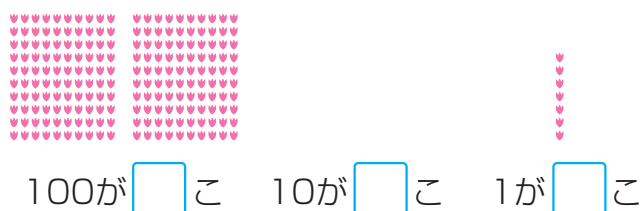
- ② ひゃく くらい じゅう くらい いち くらい
百の位、十の位、一の位の
すうじ 数字を 書きましょう。

ひゃく くらい 百の位	じゅう くらい 十の位	いち くらい 一の位

----------------------	----------------------	----------------------

- ③ はな かず
花の 数は、100 を 2 こと、
10 を 4 こと 1 を 3 こ あわせた
かず 数で、 です。

- ④ 100 のたば、10 のたば、
1 のたばが、それぞれ 何こ
あるでしょうか。



- ⑤ ひゃく くらい じゅう くらい いち くらい
百の位、十の位、一の位の
すうじ 数字を 書きましょう。

ひゃく くらい 百の位	じゅう くらい 十の位	いち くらい 一の位

----------------------	----------------------	----------------------

- ⑥ はな かず
花の 数は、100 を 2 こと、
10 を 0 こと 1 を 7 こ あわせた
かず 数で、 です。

100 より 大きい 数 ②

(教科書 67 ～ 70 ページ)

2 年	名	
	組 前	



に あてはまる ことばや しるしを ^か書きましょう。

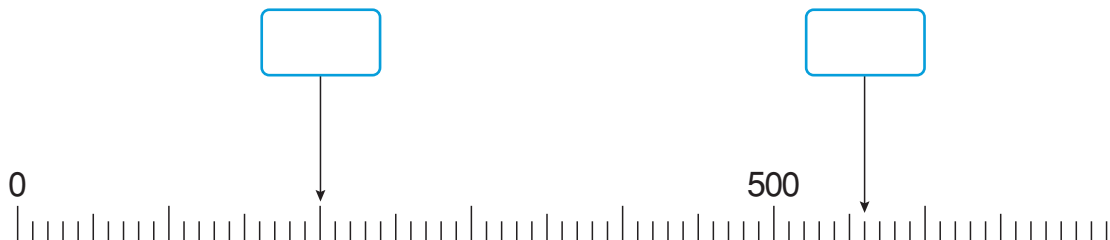
- ① 598 と 589 の ^{だいしやう}大小は、 の ^{くらゐ}位の ^{すうじ}数字を ^み見ると わかります。

^{ひゃく くらゐ} 百の位	^{じゅう くらゐ} 十の位	^{いち くらゐ} 一の位
5	9	8
5	8	9

- ② >、< の しるしを つかって
あらわすと、598 589 に
なります。



^{した}下の ^{かず}数の ^{せん}線を ^み見て ^{こた}答えましょう。



- ① いちばん ^{ちい}小さい 1 めもりは、 を あらわして います。
- ② ^{かず}数の ^{せん}線の に あてはまる ^{かず}数を ^か書きましょう。
- ③ 100 を 3 こ と、10 を 9 こ あわせた ^{かず}数は、 です。
- ④ 10 を 17 こ あつめた ^{かず}数は、 です。
- ⑤ 230 は 10 を こ あつめた ^{かず}数です。

100 より 大きい 数 ③

(教科書 71 ～ 75 ページ)

2 年

名

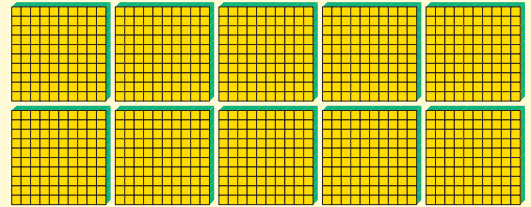
組 前



◆千

に あてはまる 数^{かず}を 書^かきましょう。

- ① 100 を 10 こ あつめた 数^{かず}を
千^{せん}と いい、 と 書^かきます。



- ② 1000 は より 1 おお 大きい 数^{かず}です。

- ③ 1000 は 10 を こ あつめた 数^{かず}です。



◆何十、何百の 計算

60 + 80 の 計算^{けいさん}を しましょう。

$$60 + 80 = \text{$$



10 の まとまりで 考^{かんが}えると、
 + だから…。



900 - 400 の 計算^{けいさん}を しましょう。

$$900 - 400 = \text{$$



100 の まとまりで 考^{かんが}えると、
 - だから…。



◆百の位に くり上がる たし算

町内の そうじで、アルミかんを 72 本、スチールかんを 63 本
ひろいました。あわせて 何本 ひろったでしょうか。

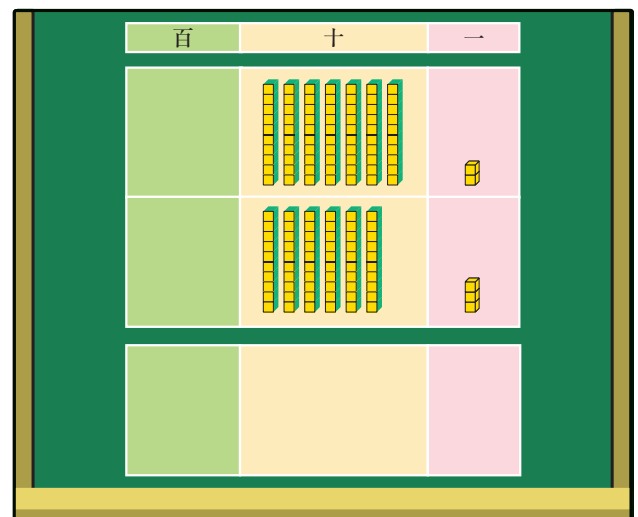
① 式を 書きましょう。

しき
式



② 筆算の しかたを 考えましょう。

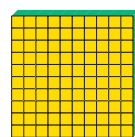
ひゃく くらい 百の位	じゅう くらい 十の位	いち くらい 一の位
+		



じゅう くらい
十の位は



が 7 + 6 で 13。



と



だから…。



- ・一の位は $2 + 3$ で 5。
- ・十の位は $7 + 6$ で 13。
- ・十の位が 10 より 大きく なったので、
百の位に 1 くり上げます。

こた
答え



◆くり上がりが 2 回 ある たし算

83 + 49 の ^{ひっさん}筆算の ^{かんが}しかたを 考えましょう。

① 一の位は ^{いち}3 + ^{くらい}9 で 12。

一の位には を ^か書きます。

② 十の位に ^{じゅう}くり^あ上げます。

③ 十の位は

^{くり上がり}1 + 8 + 4 で 13。

十の位には を ^か書きます。

④ 百の位には、十の位から ^{じゅう}くり^あ上げた を ^か書きます。

②

	8	3
+	4	9
④	③	①

◆れんしゅう

① 76 + 68

+		

② 54 + 47

+		

③ 98 + 5

+		

④ 655 + 9

+			

⑤ 827 + 36

+			

2 年	名	
	組 前	



◆百の位から くり下がる ひき算

タオルを 125 まい^{よう} 用いして、53 まい^{なん} くりおわりました。
タオルは 何まい のこって いるのでしょうか。

① 式を^{しき}書^かきましょう。

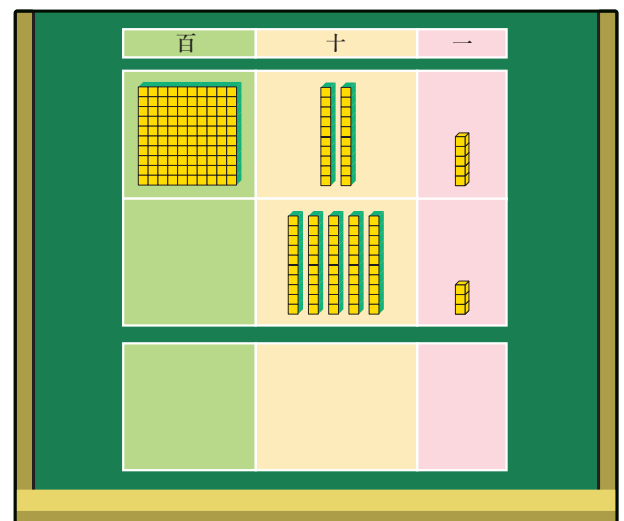
式



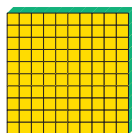
② 筆算^{ひっさん}の しかたを^{かんが}えましょう。

ひゃく くらい 百の位 じゅう くらい 十の位 いち くらい 一の位

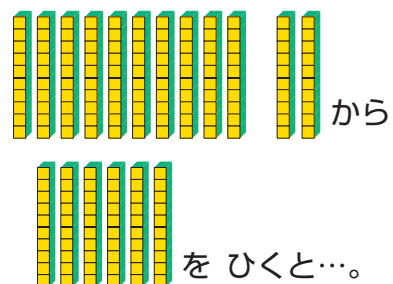
—			



ひゃく くらい 百の位から、じゅう くらい 十の位に



を^さくり下げて…。



から

を ひくと…。

- ・一の位は $5 - 3$ で 2。
- ・十の位は 2 から 5 はひけないので、百の位から 1 くり下げます。

$$\begin{array}{r} \text{くり下がり} \\ 1 \quad 2 \quad - \quad 5 \end{array}$$



こた
答え



◆くり下がりが 2 回 ある ひき算

163 - 79 の ^{ひっさん}筆算の ^{かんが}しかたを 考えましょう。

- ① 一の位は 3 から 9 は
ひけないので、^{じゅう}十の位から
1 ^さくり下げて - 9 を
^{けいさん}計算します。
- ② 一の位には を ^か書きます。
- ③ ^{じゅう}十の位は 1 ^さくり下げたので
 になります。
- ④ ^{じゅう}十の位は 5 から 7 は
ひけないので、^{ひゃく}百の位から
1 ^さくり下げて - 7 を
^{けいさん}計算します。
- ⑤ ^{じゅう}十の位には を ^か書きます。

		5	1
	1	6	3
-		7	9

◆れんしゅう

① 133 - 56

② 112 - 29

③ 160 - 96

-			

-			

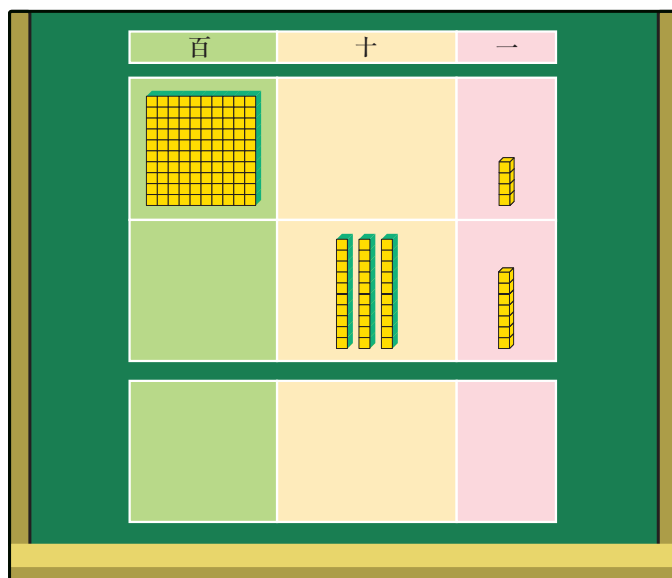
-			



◆ 0 のある くり下がり

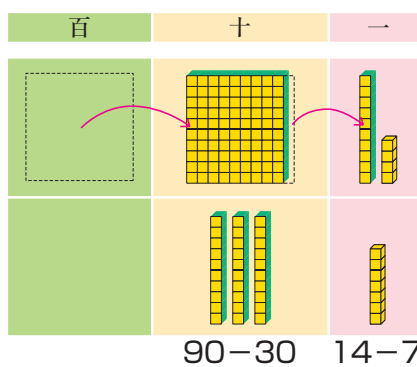
104 - 37 の ^{ひっさん}筆算の しかたを ^{かんが}考えましょう。

	1	0	4
-		3	7



^{じゅう}十の位から
^さ1 くり下げるには…。

^{ひゃく}百の位から ^さくり下げて…。



90 - 30 14 - 7



◆ れんしゅう

① 101 - 83

② 106 - 17

③ 100 - 7

-			

-			

-			



◆ 3 つの 数の たし算

つぎの 計算の しかたを 考えましょう。 $18 + 7 + 3$

じゅんに たすと…。

$$18 + 7 + 3$$

1 2

1 $18 + 7 =$

2 $25 + 3 =$

あとの 2 つを まとめて 計算すると…。

$$18 + 7 + 3$$

2 1

1 $7 + 3 =$

2 $18 + 10 =$

あとの 2 つを まとめて 先に 計算する 考えは、 $18 + (7 + 3)$ と
あらわす ことができます。

たし算では、たす じゅんじょを かえても、答えは 同じに なります。



17 人で あそんで いました。
あとから 男の子が 6 人、女の子が 4 人 来ました。
ぜんぶで 何人になったでしょうか。

① あとから 来た 人数を まとめて、() を 使って 式に
あらわしましょう。

$$\boxed{} + (\boxed{} + \boxed{}) = \boxed{}$$

② 答えを もとめましょう。

答え



に あてはまる 数^{かず}を 書^かきましょう。

- ① 時計^{とけい}の 長い^{なが} はりが 1 めもり すすむ 時間^{じかん}は 分間^{ぶんかん}です。
- ② 長い^{なが} はりが ひとまわりする 時間^{じかん}は 分間^{ぶんかん}です。
- ③ 60 分間^{ぶんかん}を 時間^{じかん}と いいます。

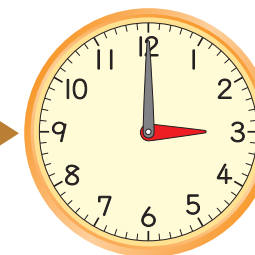
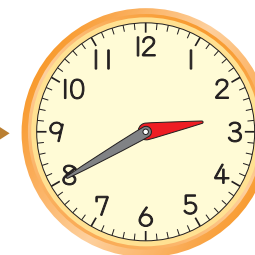
ゆうたさんの 1 日^{いち}について しらべて います。

あさ いえ で 朝、家^{いえ}を 出^でる。

がっこう 学校^{がっこう}に つく。

がっこう 学校^{がっこう}を 出^でる。

いえ 家^{いえ}に つく。



- ④ 家^{いえ}を 出^でてから 学校^{がっこう}に つくまでの 時間^{じかん}は 分間^{ぶんかん}です。
- ⑤ 家^{いえ}を 出^でた 時こく^{じこく}は、午前^{ごぜん} 時^じで、家^{いえ}に ついた 時こく^{じこく}は、午後^{ごご} 時^じです。
- ⑥ 家^{いえ}を 出^でてから、正午^{しょうご}までの 時間^{じかん}は 時間^{じかん}です。

- ⑦ 午前^{ごぜん}、午後^{ごご}は、それぞれ 時間^{じかん}です。
- ⑧ 1 日^{いち}は 時間^{じかん}です。